

# 生活支援体制整備

第4号 令和2年8月

発行：遠賀町社会福祉協議会

## 事業だより

今年度のスローガン！！  
お互いさまでつながる遠賀

7月17日（金）に中央区の、8月1日（土）には鬼津区の福祉ネットワーク推進委員会会議に参加しました。その中で、生活支援体制整備事業についての説明を行うとともに、参加された皆さんにアイスブレイク※1を実践していただいたので、そのご報告をします。

今回は、各人が設問※2を聞いて想像できる風景を思ったままに描いていただきました。

これは、一人ひとりの物の捉え方、考え方や表現の仕方など、違いを体現していただき、一人として同じ人はいない、皆さん、違っているということを改めて感じていただけるように行ったもので、その上で、自分を知ってもらう、相手のことを理解するには、一方的に話すのではなく、また相手の話を聴くだけでなく、共に話し合う、「会話」「話し合い」がいかに大切かを理解していただきました。

日頃、地域で活動されている皆様の活動を紹介し、理解していただけるよう、私たち生活支援コーディネーターは、これからも地域の方との話し合いを大切に福祉活動のサポートをしていきます。お声掛けいただければ、いつでもお伺いしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

※1 アイスブレイクとは、会議などで緊張を和らげ、グループ討議をスムーズに進行できるように行うものです。

※2 設問の例

- ①山から月が覗いています。
- ②山の前には・・・ など



写真はイメージです。



## こども食堂

8月29日(土)に予定しておりました「地域こども食堂」ですが、遠賀町内の新型コロナウイルスの感染報告(8月21日発表)を受け、感染拡大を防止するために延期させていただきます。

この取り組みは、長引くコロナの影響で様々なイベントが中止となっている現状を鑑み、少しでも地域の元気を取り戻そうと、遠賀川地区の民生委員児童委員さんや町内の農家の方々と共同で、広渡校区の皆さんを手作りカレーでおもてなしをしようと計画しておりました。

開催の1週間前に本町での新たな感染報告を受け、急遽延期ということになりましたが、終息の目途がたちましたら、広渡校区だけでなく、島門校区、浅木校区での開催も検討していきたいので、ご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

地域こども食堂

長引くコロナの影響で、みなさん疲れていませんか？ こんな時だからこそ、みんなに美味しい食事を提供して、元気をお届けしたい。

そんな思いで、地域(こども)食堂を遠賀川地区のみなさんと開くことにしました。更に遠賀町農家の方が丹精こめて育てた野菜を提供してくださいました。おかげで、とってもおいしいカレーができあがりました。

是非、食べにきてください。

参加費  
中学生以下は無料  
高校生以上は100円

延期になりました。

主催 遠賀川地区福祉協議会と遠賀町社会福祉協議会  
協力 遠賀川婦人会 遠賀川地区農家の方  
お願い 参加する時は、必ずマスクを着用してください。  
安全面を重視し、一切飲料水などの飲み物は準備していません。  
水筒などは、必ず各自でご持参ください。  
\*アレルギー対応はしませんので、小麦などカレーの内容物に



## フードドライブ

ふれあいの里センター入口にて、フードドライブ(食品の回収)を行っています。ご提供頂きました食材は、地域の福祉施設やフードバンクなどに寄付する活動です。

遠賀町の場合は、生活支援コーディネーターが調整し、こども食堂でも活用させていただく予定でした。今後の開催を見据え、ぜひフードドライブのご協力をお願いします。

遠賀町社会福祉協議会 (ふれあいの里内)

☎ 293-0430 FAX 482-8880

(火~土曜日 8:30~17:15)